

第4回大井川流砂系総合土砂管理計画検討委員会

議事要旨

日時：平成30年9月19日(水) 10:00～12:00

場所：静岡労政会館 5F 第3会議室

【議事】

1. 土砂管理目標の設定に向けた分析
2. 土砂管理目標等の設定方針
3. 今後の予定

【議事要旨】

1. 土砂管理目標の設定に向けた分析

事務局説明 事務局より、土砂管理目標の設定に向けた分析として、将来の土砂動態の予測、目標の方向性、目標設定に向けた検討について説明

主な意見等 ■将来の土砂動態の予測

- 「水位計算に用いる河道断面について、航空レーザ測量成果を用いて狭窄部を内挿断面により適切に表現しているか確認するとよい」旨の意見。
- 「将来的には、人為的な維持掘削のみでなく、円滑に土砂が流送しやすい方策も検討していく必要がある」旨の意見。

■基本方針に向けた目標の方向性

- 「関係する事業者が流砂系の問題を認識して事業を行うことが重要である」旨の意見。
- 「支川が土砂供給の重要なリソースであるため、関連事業者との連携や意思の疎通が必要である」旨の意見。

■通過土砂量の目標設定に向けた検討

- 「ダム近傍に置き土して、深掘れ抑制効果などが波及できないかを確認するとよい」旨の意見。
- 「牛尾地区の上流は、大規模出水時の土砂溜めとしての機能がある可能性がある」旨の意見。
- 「流下能力に問題のない範囲で最大の土砂還元を行っても、河口流出土砂量は飛躍的に増える訳でないことが把握されたため、これを前提として海岸の将来計画を考えていく必要がある」旨の意見。

■流砂系内での土砂活用の目標設定に向けた検討

- 特になし

2. 土砂管理目標等の設定方針

事務局説明 事務局より、土砂管理目標、土砂管理指標、計画対象期間、土砂管理対策、モニタリング計画の考え方について説明

主な意見等 ■土砂管理目標の考え方

- 「塩郷堰堤付近の狭窄部が土砂移動のコントロールポイントとなっているため、対策を考える上での問題意識として重要である」旨の意見。

■土砂管理指標の考え方

- 「河川環境の観点からは、整理した指標で問題ない」旨の意見。
- 「環境上の管理目標は、定量的な目標値などを入れられるよう、可能なものから検討を始めるとよい」旨の意見。
- 「河口テラスの後退が予想される中で、環境への影響を評価する上での調査・検討を進めていくとよい」旨の意見。

■計画対象期間

- 特になし

■土砂管理対策の考え方

- 「堤防整備は、『流砂系内の土砂の活用を促す対策』として整理されているが、『防災上の対策』に入れた方がよい場合もある」旨の意見。
- 「全国的な土砂災害を踏まえると、将来的なステップとして、大規模土砂災害時の土砂流出に備えた議論はしておく」とよい旨の意見
- 「土砂生産の実態を把握し、長期計算の条件との整合性を確認する必要がある」旨の意見。

■モニタリング計画の考え方

- 「土砂のリソースとして、土砂生産状況を把握することが必要である。土砂生産は突発的に起こるため、一時期の調査ではなく、定期的に調査することがよい」旨の意見。
- 「LP やグリーンレーザの技術を用いると、砂州の前進状況が把握でき、土砂動態のみでなく、環境上も有意なデータが取得できるため、新しい技術を活用して、定量的な管理に繋げてほしい」旨の意見。
- 「流砂系の広い領域でどれだけ効率的にモニタリングするかが計画の肝であり、調査地点をしっかりと考えておく必要がある。計算を活用して地点選定を行ってほしい」旨の意見。

3. 今後の予定

事務局説明 事務局より、今後の予定について説明

主な意見等 ● 特になし

以 上